

令和4年度 第2回図書館協議会 会議録

- ◎開催日時 令和4年(2022年)9月16日(金)午後7時~午後9時
- ◎開催場所 野洲図書館 本館 ホール
- ◎出席者 図書館協議会委員9名(五十嵐芳子委員、遠藤正一委員、岡田さゆり委員、高野真知子委員、中村聡子委員、早川久登委員、披岸徹夫委員、松山裕子委員、山本宗司委員)、事務局3名(図書館長、副館長、専門員)
(欠席委員1名・岡田知巳委員、傍聴者1名)

*配布資料について

ここに掲載した以外の資料については、図書館本館および中主分館で、図書館協議会会議事録とともに公開しています。

1. 開会

2. 議事

(1) 令和3年度図書館の評価(外部評価)について

【会長】図書館の外部評価について、評価のABCに関してはシビアに見ていきます。

外部評価の意見は本日出してもらいたい。1番目の貸出について。コロナの状況もあるが目標を達成していないということで外部評価Cでよいですか。

【委員】よいです。

【会長】課題の欄に、野洲市民に図書館を使ってもらおう工夫や、借りたいと思う棚になっているかどうかということについて、意見はありますか。

私から三点ほど、意見を言わせていただきます。

棚の本が多すぎる。きつきつになっている。ということは、棚のメンテがされていない。魅力ある棚づくりというが、実際には職員が棚をみていないのでないか。魅力のある棚づくりにはなっていない。

特集をいろいろやっていて、魅力的な本がでてくるので借りたいと思うが、2週間くらいで終わってしまう。あとから借りようと思っても本がわからなくなるので、特集が終了してもデータをどこかに置いて検索できるようにしてほしい。

蔵書に関して、(テレビ番組の)「100分de名著」に出てくるような本くらいは所蔵しておいてほしい。

【委員】特集の本はデータで残すと見えにくくなる可能性もあるので、新着ファイルのように、ファイリングしておくのはどうですか。見やすいと思う。

【会長】よいのではないのでしょうか。他に意見はありますか。

【委員】レファレンスに関して、図書館に来ないとできない。電話もあるにはあると思うが。ホームページでは蔵書検索はできるが、レファレンスはできない。小中学校のタブレットを通じて図書館に相談できるようなシステムを、チャットなどを使って将来的に構築できるとよいと思う。なぜかという、中学校にボランティアに行っているのだが、学校の図書室にいると、司書と思われて、先生から相談が来る。ボランティアなので、専門的な相談への対応

は難しい。せっかく子どもたち全員がタブレットを持ち、ネットもあるので、図書館とのやりとりがスムーズにできればもっとよい。そうすれば貸出にも反映されてくるのではないかと思います。

学校図書館の電子化を将来的にすすめることが可能になったと聞いた。図書館とのネットワークを学校と繋いで、スムーズな貸出が可能になるのではないのでしょうか。相談についても、ネットを通じてできるようにするなどの構想はありますか。

【館長】市内の全小・中学校の学校図書館に蔵書管理システムを導入するための補正予算の議案が9月の議会で上がっています。議会を通れば、実施において動くことになります。システム上は検索は可能になりますが、相談機能はついていません。公共図書館との連携については今後の課題です。今後の運用については、学校側との相談になる。図書館としては、相談については先生方と直接お話をしたい。

【委員】学校の先生は電話や対面などは面倒がられる。忙しいということもあるが、ネット時代の先生方は人と対面では話しにくいとも聞きます。チャット、あるいはメールでも相談ができるような体制を前向きに考えていただきたい。

【会長】評価項目の2番目 中主分館での貸出については、内部評価Cと同じく外部評価もCでよいですか。

【委員】よいです。

【会長】3番目 人ロ一人あたりの貸出については、内部評価C。数値は目標値に近いが達成はしていないので外部評価もCでよいですか。

【委員】よいです。

【会長】4番目 市の児童一人当たりの貸出冊数については、目標達成ということで内部評価A。外部評価Aでよいですか。

【委員】よいです。

【会長】「児童」というのは小学生のみですか。中学生は入らないのですか？

【館長】12歳までなので、中学生は入りません。

【会長】5番目 団体貸出冊数は、内部評価A。外部評価Aでよいですか。調べ学習用の資料の貸出などがあるが、調べもの講座はどうでしたか。

【館長】8月5日金曜に実施しました。人数は少なかったのですが参加した子どもには楽しんでもらえました。

【副館長】この事業は定着していないので応募がのびませんでした。一日図書館員の選にもれた子などが参加してくれました。

【委員】最終的な参加人数は何人だったのですか。

【副館長】午前6人、午後6人です。実際に棚に行って、本を見ながらこのように調べるとよいなどのコツなども伝えていたので、人数は増やせませんでした。この講座で作成した配布資料は、学校現場でも調べ方の参考として使えると思うので、機会があれば先生方とも情報共有して活用したい。

【会長】毎年継続していくことも大事です。集まりが悪くても続けてほしい。

【会長】6番目 市民の登録率は、令和2年度に統計ミスがあったということで令和2年度

は内部評価 A からCになっている。今年度も外部評価 C でよいですか。

【委員】よいです。

【会長】7 番目 市民の新規登録者数 は内部評価 C。外部評価Cでよいですか。

【委員】よいです。

【会長】8 番目 レファレンス件数 は 内部評価 A。同じく外部評価Aでよいですか。

【委員】よいです。

【会長】子どもたちは、タブレットから図書館の蔵書検索はできないのですか。

【委員】ホームページにいけるので、検索はできます。

【委員】レファレンスはできません。レファレンス件数を伸ばせない壁の一つかと思います。

【会長】レファレンスのメール受付はできますか。県内の他館はしていたと思いますが。

【副館長】受けていません。県立図書館はしていますが、どの範囲まで受けるのかという問題もあります。市民でない人の相談が増えて職員が拘束されるのも困ります。やるとすれば整理が必要です。メールのやり取りにウイルスなどのリスクもあります。技術的な面の問題もあります。

【会長】電話でのレファレンスしていますか。

【副館長】電話では行っています。

【会長】学校の先生は、電話ではだめなのでしょうか。

【副館長】電話は時間が拘束されるので、嫌がる人もいます。メールだと時間外でもできます。

【会長】9 番目 郷土資料受入冊数 は 内部評価A。外部評価 A でよいですか。

【委員】よいです。

【委員】郷土資料は昨年度の受入れが 612 冊もあるのですか？あまり目につかないのですがどんな資料があるのですか。

【館長】書庫にもたくさんあります。ホームページから印刷した数枚程度の薄い資料も多いです。数ページの資料でも 1 冊と数える。通常の本とは違うのであまり目につかないかもしれません。

【会長】10 番目 お話会参加人数 は 内部評価Dにするのですか？ 目標は変えるべきではないですか。コロナで人数制限などもしている中で、目標据え置きは違うのではないかと思います。司書のモチベーションも下がります。この評価は、横棒にするほうがよいと考えますが、どうですか。

【委員】よいです。

【会長】11 番目、関係機関、団体との連携 → 内部評価A。外部評価 A でよいですか。

【委員】よいです。

【会長】連携 24 回とはどんなことをしているのですか？

【館長】資料の連携特集が多い。実績報告の 20 ページ 14 番の特設コーナーを参照してください。市役所の他の課の取り組み内容との連携特集や、歴史民俗博物館の企画展示との連携特集などを行っています。

【会長】12 番目 障がい者サービスの郵送・宅配数 内部評価A。外部評価 A でよいですか。

【委員】よいです。

【会長】13 番目 職員の対応満足度について 内部評価A。外部評価 A でよいですか。

【委員】よいです。

【会長】令和4年度に職員の対応満足度100%達成の目標は厳しいですか？

【副館長】それは難しいです。

(2) 次期の図書館評価の形式について

【副館長】次期の図書館評価の形式について提案します。(資料3)

現在は数値があって、それに対してABCをつけていくという評価をさせていただいていますが、図書館をとりまく状況が変わっていく中で、当初の目標にもとづく評価は無理があるのではないかと考えます。特にこのコロナ情勢下では再考が必要だと思います。そこで、県立図書館をはじめ、他市ではどのように評価しているのかという情報を集めてみました。

(資料4)

県立図書館は、大きく取り組みの項目をたてて、その取り組みについての実施事項があって、それを分析し、それに対し館から課題を提示したのに対して、事前に委員からご意見をいただき、集約して取りまとめて評価しています。この方式を取りたいと思います。こちらの方が合理的です。ご検討いただきたい。

ただ、本日は県立図書館の岡田委員が欠席で、当事者の立場からのご意見をいただけないので、今回は案の提示だけにさせていただきたい。

【館長】補足します。こちらのサンプル(資料3)は、複数の図書館のやりかたを統合してよいところをとったものです。県立図書館の評価方法は、一個一個の項目の数値に対しての評価ではなく、取組み全体をまとめて評価するところがよいです。また外部評価のやり方としては、事前に委員からご意見をいただいて、それを集約して事務局でまとめたものと、意見そのままをまとめた資料の両方を提示します。会議の場だけでご意見をいただくのは、なかなか難しいこともあるので、事前に意見を集約したものがあれば会議がすすめやすくなると思います。県立図書館の岡田委員の説明を後日いただいてから、考えていただきたいと思います。

【副館長】来年度からどうするのかを含め、次回あらためてご協議ください。

来年度はまだ現在の形式で続けることになっていますが、このタイミングでやり方を変えることも一つの方法です。

【会長】要は来年度から変えたいということですか？

【副館長】そこも含めて、ご判断いただきたいと思います。前に設定した評価の数値をそのまま使うのも問題が多いのは事実です。今やっている評価の数値を変えるということも考えられますが、やり方を変えることも方法かと考えます。

【会長】評価を数値でやると、具体的な評価ができることがよい。評価する側としては、具体的な項目に対して評価できるのがよいところです。項目だとしても抽象的になって、評価対象がわかりにくい。その場合、図書館はどのような図書館にしたいというビジョンが必要です。ビジョンに対して、それを達成するためにこのような項目が必要という形で考えていけないといけない。ビジョンを具体的にしないと有名無実になる。

数値も、以前に決めたからと継続するのではなく、状況にあわせて変更することも必要です。両方の良いところを取れたらよいと思います。前年度に来年度はこうしようという形

で変えていけたらよい。

【委員】方針・ビジョンなどは、既にいくつか出されている計画（子ども読書推進計画など）などを、どう優先づけて行っていくかを順序付けないと難しいので、そのあたりを示してほしい。

【会長】（事務局は）次回までに考えておいてください。

(3) 令和4年度補正予算要求について

【館長】（資料5に沿って今年度の補正予算を説明）

国の新型コロナ対策の交付金で予約資料受取システムとブックポストを申請しています。設置場所としては、できれば野洲駅に置きたいと考えています。無人で予約資料の受け取りができて、返却も同じ場所でできることが利点です。予約資料受取システムの機器は、ボックスの数は34で、24時間稼働です。この議会で承認されれば導入する予定になっています。

【委員】野洲駅のどこですか。

【館長】交渉中ですが、改札出たすぐ斜め前、時刻表の向かい側あたり。できればそこにとお願いしています。

【委員】それはそこでの受取を指定したものが受け取るのですか？

【館長】そうです。

【会長】セキュリティはどうなっていますか。

【館長】図書館のカード番号が必要です。

【会長】打ち込むのですか？ 後ろから見られているかもしれないのでセキュリティが心配です。バーコードを読み取る形ではないのですか？

【館長】（利用者は）カードがあればバーコードで読み取りができます。図書館職員が本を持っていくときは番号を手打ちになります。

【会長】ひとつのボックスにどれくらいの本が入りますか。

【館長】高さが10センチくらいなので、通常の本なら5冊ほど。大きなものは入らない。

【会長】毎日、職員が入れに行くのですか？

【館長】そうです。要望が多かったときに34だけでは対応できなくなる可能性もあるのでそれが心配です。

【会長】以前はできなかったが、今は在庫（書架にある本）の予約もできます。この在架予約でも対応できますか？

【館長】在架予約はコロナ禍の取り組みなので、実施期間はいつまでにするか決めていないのですが、これを続けている間はできます。

【会長】実施しているものをやめるのもハードルが高いと思いますが…。来館しなくても借りられるので、貸出は増えるが、要はAmazonで本を買った本を宅配ボックスにいれられるのと同じこと。できれば図書館の開架を見てほしい。対象は小中学生でもよいのですか？

【館長】対象は限定していません。

【会長】設置場所を増やしていけば移動図書館の代わりになりますか？

【館長】指定した本だけということになりますが、本当は開架から選んでもらいたいのですが、

指定する本くらいは便利な受取システムをつくりたいと思います。

【会長】図書館に行きにくい人へのサービスにはつながると考えます。デメリットはありますか。

【副館長】駅を使用する人でないと、2階まであがってというのはハードルが高い。わざわざ路上駐車して取りにはいかない。使う人は限られてくる可能性はあります。ただ、野洲駅の乗降客数から考えると、そのデメリットを考えても有り余るメリットを享受できるのではないかと思います。

【会長】駅前に野洲病院を作る際の図書館分室の話はどうなっていますか。

【館長】現在凍結中ですが、話がなくなったわけではなく残っています。

【委員】予約は市民でなくても利用できますか。

【副館長】野洲市内への通勤通学者も利用できます。湖南4市の広域利用者は予約できる対象からは外しています。

【委員】受取ボックスの設置は、ほかに滋賀県内にありますか？

【館長】県内では初めてです。

【委員】今年はコロナの交付金で本は買わないのですか？

【館長】今年は申請していません。このシステムについては提案があったので申請しました。

【委員】資料の要求は出すべきではないですか。

【館長】これまで2年間で2千万円をもらっており、資料費はある程度目途がついたので、今年はおしませんでした。

【委員】今後、ほかの場所にこの受取ボックスのシステムを設置する予定はありますか。

【館長】今回は国が予算をだしてくれるので、設置ができます。今回の形で利用状況がよければ、ほかにも設置したいですが、高額なので難しい。

【委員】コロナが収束したらシステムは撤去するのですか？

【館長】そのまま置いておきます。

【委員】子育て世代の母親などは、駅は行動範囲にない。駅まで行くというのはどうでしょうか。昔の分室について、便利だったとの声もある。どうせなら野洲市役所のほうが、そうした人には利便性が高いのではないですか。野洲地域しか見ていない。中主地域の人にとっては関係がない。それならば、資料を買ったほうが、全体のサービスについては広がりがあるのではないですか。今後の展望が不透明。やる価値はあると考えますが…。

【委員】よい試みだと思う。駅の利用者の数を考えるとメリットがあるという考えはそうだろうと思います。例えばアルプラザの中にあつたら、もっと多くの人を使うのではないのでしょうか。アルプラザには、子育て世代も高齢者も来ている。高齢者はタクシーで来たりしている。わざわざ図書館にタクシーでいくことはないかもしれないが、アルプラザで受け取れればより本との距離が近くなるのではないのでしょうか。

【委員】循環バスは大きな移動手段。午前中のアルプラザに行って帰るという流れができています。中主の人でもバスで来られる。確かに、駅は、閉館時間が早くなったことで困っている人への対策にもなる。

【委員】アルプラザは休みの場合が困る。駅だと24時間使える。アルプラザとなると、雨が心配ですが外におくことになりますか？

【委員】駅の土地の借り賃はかかるのですか。アルプラザだともっとかかるのではないです

か。

【館長】借り賃はかかります。

【副館長】それも含めて費用対効果などの検討は必要です。

【委員】駅だと大学・高校生も利用できる。

【委員】増やしていく方向を検討するといいい。ただ、ブックポストは駅だとゴミ箱扱いされる可能性があるので心配です。

【委員】たしかに、飲料やガムなどを入れられて、中の本が汚される可能性は高いと思います。

【委員】借りたはいいが返せないというのも確かに困ります。

【館長】既に駅にブックポストを設置している草津などに聞きましたが、そういったトラブルの事例はあるがそれほど多くはないとのことでした。そのリスクは織り込み済みで動くことはありません。

【会長】24時間ではなく夜間は返却口が閉まるといいかもしれないが、それだと本末転倒になりかねないですね。

【館長】(資料6・7 令和3年度決算 令和4年度当初予算について)

図書館の費用としてこれだけのものを使用しました、これだけの予算がありますなどを提示すべきかと考え、今回初めて作ってみました。

【委員】図書館は20年たったということだが、設備がだいぶ古くなっているのではないですか。老朽化していると考えますが、修理費用はどうなっていますか。

【館長】公共施設の長寿命化計画といって、市内全ての公共施設について計画がたてられていますが、予算がとれないために計画通りにはいっていません。後回しになることも多々あります。

図書館施設も老朽化しているので、想定よりも高額になったり、急に故障したり、すぐには修繕できないこともあり、厳しい状況です。

【委員】これは各施設ごとに個別に要求をだすのですか。

【館長】そうです。

【委員】営繕修理を専門とする課などが市全体に対応することはないのですか。

【館長】修繕の予算要求は個別にあげて、それを財政課が把握していますが、営繕の課というのはありません。

【副館長】修繕を専門とする課はありません。施設修繕の専門知識性の全くない司書が、設備の仕様書などを作って対応しており、現場では苦勞しています。

【委員】学校はどうしているのですか。教育総務課でしているのですか？

【委員】一校ずつでやっています。

【委員】(資料にある)スポーツ保険とは何ですか？

【館長】図書館のボランティアが、図書館関連での活動でケガをされた場合などに保障が得る保険です。

【会長】資料6の図書整備費の内訳では、新型コロナ交付金の金額がほぼすべてを占めています。どういうことですか。

【館長】当初は当初予算で1600万円の図書費があり、あとで1000万円のコロナの交付

金がつかしました。その後、年度末の補正予算で国の交付金が(さらに追加されて)図書費に充当されて、最終的にこのような形で、一般会計から出した予算は80万円ほどになりました。

【委員】令和5年度の交付金で図書費は要求しないのですか。

【館長】この2年で小中学校のとしょかんBOXも整備できて、さらに要求するのは困難です。

【委員】としょかんBOXも本は傷んでくる。補充も必要になります。

【館長】としょかんBOXは、そもそも学校図書館を充実整備するまでのつなぎの事業と考えています。いつまでも続けるつもりはありません。本を買い替えなければならなくなる前に、学校図書館整備をしてほしいと考えている。

(4) 図書館協議会のご意見についての対応の進捗状況について

【館長】(資料8に沿って説明)

【委員】委員の意見に対して進捗や取り組みを返してくれるのが嬉しい。こうしたことが積み重なって、事業評価もきちっとした評価が生まれてくる。間口が広いものよりも、こうした個々の取り組みに対してきちんと評価できることがよいと考えます。

【委員】学校のタブレットのお気に入りに入れるなどの対応で、図書館のHPが見られるのは良いと思います。こうしたアクセスの説明なども、図書館司書が学校に出向いて説明すると、子どもの心も動くと思う。

【会長】図書館以外の施設イベントでの関連本展示について、本の盗難はないのですか？

【館長】毎年蔵書点検で不明本を調べていますが、関連本で出した本がなくなったとわかる事例はありません。

(5) 令和4年度事業について

開館20周年記念事業について ほか

【副館長】(各事業について説明)

「黒川琉伊原画展」については、急遽、野洲で開催するというお話があり、原画展とワークショップが開催できました。会場はホールが用意できず、フリースペースで行ったのですが、大盛況で、子どもも集中して聞いていました。

開館20周年記念については、これまでの貸出冊数等を数字にして、視覚的にわかりやすく表現しました。これをもっと積み重ねていきたい

「としょかんで夜更かし」は明後日開催予定。事前の反応がかなりよい。図書館側としてはそれほど大きなことをする感覚ではないが、利用者側の期待はかなり高く、書庫開放のプログラムには約70名の方の応募があり、満員になりました。お話会もボランティアの協力を得て、音楽を交えて開架中央で行う予定です。子ども向けにしおりづくりなどもあります。

「一箱古本市」は初めての試みです。申込は現在5組で、もう少し増やしたい。気候もよい時期を選び、芝生コーナーなどでくつろげるような設えを予定しています。

「本を見て作りました!」も初めての試みです。図書館の本にモノづくりのヒントがたくさん

あるので、活用して欲しい。事前申込に作品の写真が必要です。

「雑誌の付録プレゼント 大抽選会」は、以前のポイントカード企画に準ずるものです。今回は大人も参加できるように考えました。コロナ禍で雑誌の付録の配布ができず、たまっているのですが、これらの利活用です。

「島田潤一郎トークライブ」は12月3日、80名定員で実施予定です。発行部数をのばすことより、その本を必要している人に本を届けるのにどうすべきかを考えて活動されていて、今注目を集めている一人出版社の夏葉社の島田さんをお呼びします。

(6) その他

(利用者アンケートについて)

【副館長】今年度の利用者アンケートは、紙版とネットでのアンケートを実施予定です。アンケート用紙に表示しているQRコードからネットのアンケートにとぶこともできる。ネットからアンケートに答えられます。HPや広報やすにも掲載して、来館しない人にも周知したい。

結果として、厳しい評価や満足度が下がる可能性はありますが、そうした声もきちんと受け止めたい。むしろ、そのほうが改善につながると考えています。

【館長】ネット版では、図書館に来ていないという人向けに、その理由も問う項目もあります。

【会長】せっかくQRコードがあるので、さまざまな場所にポスターを貼るとよい。国際協会など。なるべく幅広い人が答えられるようにしたらよいと思います。

【副館長】そのようにします。

【委員】講演会について。書店が厳しい時代になっている。それに代わるというわけでもないが、図書館でそれぞれの個性が出てきてもいいと思う。何か特有のコンセプトを持って特集などに取り組んでほしい。特化することが、貸出数や利用者数につながるように思う。幅広くではなく、特化したものを追求してほしい。各司書の特性を活かして、なにかできないか。棚の上にある表紙見せの本について、担当者が特に選んでいるものと考えるので、何かコメントがあるとよいと思います。「今月のおススメ」程度でもよい。そういう形で図書館同士が競える形になるとよい。

【委員】今年の内閣府の調査では、10歳のうちの45.8%の子が自分のスマホを持っている。6年生にもなると100%に近い。カードではなく、スマホで簡単に本が借りられると助かる。カードは持ち歩かない。また、スマホは必ずメール登録をする。するとメールに広告がくる。新刊の紹介などをピックアップして流して受け取れるようになるるとよい。スマホをうまく使いこなすとよい。

図書カードの登録について、小学校全員のカードを作れるように学校と連携する試みがあるとよい。3・4年の市役所関連の学習の際に、図書館も学ぶ。そこと関連させて登録してもらうのもよいかと考えます。ブックトークの機会などに、図書館カード登録を、各年1学年ずつ全登録を目指していけばよいのではないのでしょうか。ブックトークの時は、子どもたちの目の輝きが違うので、その流れでカードを配れると子どもたちは喜ぶと思う。

【委員】利用者アンケートについて。アンケートの最初の目立つ部分に、利用していない人のご意見を寄せてくださいなどの旨を記入すると、答えやすくなるのではないですか。

【委員】工房前の喫茶について。図書館はどれくらいかわっているか。

【館長】場所を貸しているだけです。

【委員】作業所の人が出張してきてやっている。職業訓練も兼ねているのかと理解している。ただ、事業所が人員の募集案内をしているが知っていますか？ 応募用紙を持った人に場所を聞かれたことがある。趣旨から離れると思う。

【館長】それは知りませんでした。どこまでのことをしてもよいとするべきか、検討します。

【館長】植栽のクレームがありましたので報告します。駐車場裏の道が見えにくいので危険とのことで剪定しました。もう少しきちんと植栽を管理したいと考えています。植栽の量が非常に多く対応が難しいのですが、計画を作って順次対応していく予定です。

【館長】「ファミリーレストラン」が昨日 15 日来館されました。(図書館の事業のために来館を依頼したところ)厚意で来てくれることになりました。当日は、感謝を伝えたいとライブポスターを館内のいたるところに貼りました。事業の趣旨は図書館とはどういうところかを「ファミリーレストラン」さんが取材に来たという形で、図書館をPRして、「ファミリーレストラン」のお二人を通じて図書館を知ってもらうことが目的です。その記事を広報やうすに掲載予定です。

【委員】植栽を含めた管理について、外の植栽も含めて外観は図書館の看板になるので、管理はしっかりするべきです。ただし、図書館だけで全て管理しろというのも困難。シルバー人材センターなどにもお願いできないのでしょうか。

【館長】予算もつけてもらい、既にシルバー人材センターに草刈りをお願いしています。ボランティアグループのレイカ野洲さんも毎月活動してくれています。でも、敷地全ては無理です。

【委員】図書館側だけで全てやるのは無理だと思う。

【副館長】布絵本について説明します。障害がある子どもたちでも触って楽しめる布絵本の提供を開始しました。まずは関連団体を中心にサービスを始めます。また、進捗状況は報告します。布絵本を必要とする人に心当たりあれば伝えてほしい。

【委員】それは開架には出ていないのですか？

【副館長】子どもたちが好きに触って壊れても困るため書庫に置いてあります。

【委員】文化ホールでやっていたネーミングライツなどは、図書館はやらないのですか？

【副館長】図書館として他に例がないわけではないですが、風情もなにもない企業名を冠した図書館になるかもしれないことを考えると、現在の切迫してはいない状況では考えていません。

【委員】図書資料についても、環境整備についても、野洲市の看板、誇りとして何も遠慮するところではない。環境整備、資料の充実は訴え続けてほしい。

令和4年度 第2回図書館協議会 次第

令和4年（2022年）9月16日（金）

19時～21時

野洲図書館 本館

1. 開 会

2. 議 事

- (1) 令和3年度図書館の評価（外部評価）について
- (2) 次期「図書館の評価」の形式について
- (3) 令和4年度補正予算要求について
- (4) 図書館協議会のご意見についての対応の進捗状況について
- (5) 令和4年度事業について
開館20周年記念事業について ほか
- (6) その他

* 次回の会議予定

3. 閉 会

配布資料一覧

第1回会議の配布資料

令和3年度度図書館の評価について（内部評価 簡易版）

当日配布資料

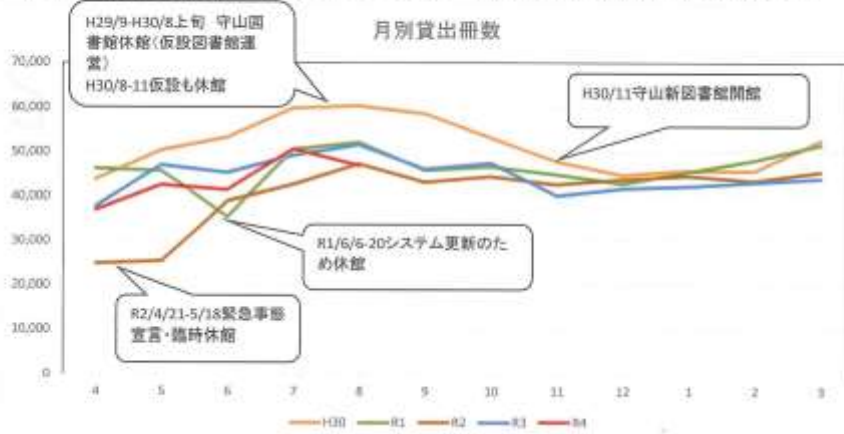
- ① 日本図書館協会 図書館統計抜粋（令和2年度）
- ② 令和4年度 月別図書館利用状況
- ③ 野洲図書館 事業評価シート（案）（次期 図書館の評価 様式案）
- ④ 図書館の評価 参考資料（県立図書館、大津市図書館、長浜図書館）
- ⑤ 令和4年度8月補正予算要求資料
- ⑥ 令和3年度 図書館費決算
- ⑦ 令和4年度 図書館費予算（当初予算）
- ⑧ 図書館協議会のご意見への対応状況
- ⑨ 「はじめてのびわこの魚」原画展チラシ
- ⑩ 野洲図書館 本館開館20周年記念ポスター
- ⑪ 「としょかんで夜更かし」チラシ
- ⑫ 「音楽のあるおはなし会」チラシ
- ⑬ 「一箱古本市」チラシ
- ⑭ 「図書館の本を見て作りました！」チラシ
- ⑮ 「雑誌付録プレゼント 大抽選会」チラシ
- ⑯ 「島田潤一郎さん講演会」チラシ
- ⑰ 利用者アンケート
- ⑱ 図書館関係記事
- ⑲ 図書館だより 9月号
- ⑳ 図書館カレンダー

野洲図書館 利用状況の推移

資料②

月別貸出冊数

	本館	中主	R4	前年比	H30	R1	R2	R3	R4	
4	34,179	2,696	36,875	-2.5%	43,693	46,273	24,644	37,810	36,875	
5	39,391	3,062	42,453	-9.7%	50,316	45,702	25,195	47,032	42,453	
6	38,341	3,016	41,357	-8.7%	53,162	35,436	38,864	45,301	41,357	
7	46,640	3,910	50,550	2.7%	59,772	50,525	42,550	49,203	50,550	
8	42,991	3,836	46,827	-9.3%	60,315	52,134	47,184	51,614	46,827	
9			0	-100.0%	58,526	45,792	43,065	46,102		
10			0	-100.0%	53,093	46,634	44,364	47,438		
11			0	-100.0%	47,734	44,885	42,563	40,092		
12			0	-100.0%	44,635	42,785	43,662	41,686		
1			0	-100.0%	45,681	45,448	44,462	42,196		
2			0	-100.0%	45,554	48,005	43,359	43,032		
3			0	-100.0%	52,425	51,491	45,306	43,831		
合計	201,542	16,520	218,062	-60.7%	614,906	555,090	485,218	535,337	218,062	前年同月比△5.6%



野洲図書館 事業評価シート(令和●年度)

資料③

(1) 市民の必要とする資料と情報の提供				
令和●年度 of 取組み状況				
1 【個人貸出】 535337冊(野洲市民 473927冊) 人口一人当たり貸出し冊数10.5冊 2 【市民の利用】 実利用者数:8669人(17.1%)、新規登録者数:870人 3 【レファレンスサービス】 5300件 利用者アンケート 認知度79%満足度100% 4 レファレンスサービスの利用促進と質の向上……館内でのPR、職員研修				
課題と今後の方針				
1 「棚づくり」図書館の書架の魅力の向上(本の見せ方、情報へのアクセスのしやすさ) 2 継続的な資料費の確保 3 非来館者へのサービスの周知・PR 4 司書のスキルアップを図るための研修の実施				
成果指標と目標				
指標名	R●目標	R●実績	達成率	R★目標
個人貸出し冊数(野洲市民)	550,000	535,337	97.3%	550,000
実登録者数	10,000	8,669	86.7%	10,000
レファレンス件数	5,000	5,300	106.0%	6,000
自己評価				C
貸出し冊数は目標に届かなかったものの、おおむね目標に近い数値となった。図書館の実利用者数は減少しているため、新規の利用登録の促進のための広報活動をはじめとする取り組みと、リピーターを増やすための来館者満足度を向上させるための取組みが必要である。				
外部評価				C
図書館協議会委員の意見等				
(評価する点)				
(課題と考える点)				

活動目標（または 主な取組み）	
(1)	市民の必要とする資料と情報の提供
(2)	こども、若者と本をつなぐ
(3)	誰もが利用できる図書館サービス

令和3年度 図書館費 決算

単位:円 資料⑥

【歳入】

..	内容	金額	備考
1	図書館使用料	120,600	会議室等貸館使用料
2	複写機使用料	41,380	コピー代
3	公衆電話使用料	890	電話代
4	自動飲料水販売機収入	154,540	

【歳出】

	事業名	金額	
1	職員給与費	56,063,071	正規職員(司書)8名
2	会計年度任用職員雇用費	25,111,866	フルタイム(司書)8名、一般事務(週5日1名、週1日1名)、事務補助員3名、図書整理員(土日各3名)
3	図書整備費	26,436,199	詳細は下記
4	図書館管理運営費	27,315,925	詳細は裏面
5	ブックスタート事業費	499,994	
	合計	135,427,055	

図書整備費 内訳

	費用名	内容	金額
1	消耗品費	学級文庫用図書セット運搬ケース、ブックコート	499,853
2	備品費	備品費(資料代)合計	25,936,346
		図書合計 13,614冊	23,215,867
		(本館 9,786冊)	17,565,461
		(中主 460冊)	632,756
		(学級文庫用 幼保用 3,368冊)	5,017,650
		視聴覚資料 107点	518,118
		雑誌合計(153タイトル)	1,617,848
		新聞合計(15タイトル)	584,513
		総合計	26,436,199

*うち国庫支出金(「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」25,596,000円)

(図書整備費について)

備品費(資料費)の当初予算は、15,937,000円。(令和2年度からマイナス270万円)国の交付金(上記)により8月補正予算で備品費1,000万円が追加され、12月補正予算で中学校のとしょかんBOXの運搬ケース用に消耗品費50万円が追加された。その後3月補正予算により、15,096,000円の財源の変更(一般財源から国の上記交付金へ)が行われた。このため、「図書整備費」の決算額26,436,199円のうち一般財源は840,199円のみ、残りは国庫支出金となる。

(図書館管理運営費について)

令和3年度は、修繕費を除いて、おおむね例年と同様の通常経費となった。修繕費は年毎に大きく異なるが、近年は特に耐用年数を過ぎた空調機器の不調が続いている。7月の一時期には2機ある空調機の両方が故障し、開架室の空調が使えない状態となった。(令和4年度9月現在は、故障個所の修繕が完了し、2機とも稼働できる状態となっている)今後の利用に支障をきたさないよう、早期に空調機器の新規入替が必要となっている。

図書館管理運営費 内訳

	費用名	内容	金額
1	報酬	図書館協議会委員報酬 3回開催	69,000
2	報償費	講師謝礼等	44,000
3	旅費		29,260
4	需用費	需用費 合計	12,214,077
	消耗品費	消耗品費 合計	2,006,297
		マーク代 (書籍のデータ代)	979,880
		印刷機・パソコン関連消耗品	285,813
		用紙、事務消耗品	224,102
		利用カード	179,850
		施設管理消耗品(トイレトペーパー他)	190,567
		その他	146,085
	燃料費	ガソリン886.7L+混合油1缶	140,000
	印刷製本費	新聞製本 @8200×2冊	18,040
	光熱水費	光熱水費 合計	5,667,327
		電気代 299,371kwh	5,617,165
		水道代 241㎡	50,162
	修繕料	修繕費 合計	4,382,413
		本館LED化照明灯入替 ロビー、フリースペース、喫茶コーナー、 ホール、風除室、くつろぎスペース、トイレ、授乳室他	1,675,500
		空調機内融式氷蓄熱ユニットブラインポンプ取替	1,760,000
		空調機内融式氷蓄熱ユニット故障修理	616,000
		バトライト撤去	33,000
		その他修理	297,913
5	役務費	役務費 合計	611,636
	通信運搬費	通信運搬費 合計	586,076
		電話代	230,901
		郵送代(うち相互貸借152,358円 郵送貸出64,651円)	355,175
	手数料	紙媒体による振り込み手数料	330
	火災等損害保険料	スポーツ保険20人、原画展動産総合保険1回	25,230
6	委託費	委託費 合計	7,885,462
	警備委託料		184,800
	施設等管理委託料	空調設備機器等保守点検、建築物環境衛生管理 電話交換機等保守、自動扉保守点検 雨水ろ過装置保守点検業務、消防用設備等保守点検 自家用電気工作物保安業務委託	2,649,900
	清掃委託料		4,356,000
	除草委託料		472,692
	植木管理委託料	消毒、松等の剪定作業	222,070
7	使用料及び賃借料	使用料及び賃借料 合計	6,415,490
	公用車リース料	2台	456,390
	事務機器リース料	デジタル印刷機リース料 9,790円/月 図書館システム使用料414,032円/月	5,085,864
	電子端末設置使用料	TOOLi図書館パッケージ連携版使用料	528,000
	複写機使用料	39,225枚	135,286
	テレビ受信料	年度途中で解約	14,445
	下水道使用料	951㎡	156,169
	その他使用料	AED使用料 @3278/月×12か月	39,336
8	負担金補助及び交付金	日本図書館協会会費、滋賀県公共図書館協議会費	47,000

令和4年度 図書館費 当初予算

単位:円

資料⑦

【歳出】

	事業名	金額	
1	職員給与費	57,187,000	職員数R3と同じ
2	会計年度任用職員雇用費	27,429,000	職員数R3と同じ
3	図書整備費	17,204,000	令和2年度比較 マイナス1,433,000円
4	図書館管理運営費	29,985,000	詳細は下記
5	ブックスタート事業費	500,000	R3と同じ
	合計	132,305,000	

図書館管理運営費 内訳

	費用名	内容	金額
1	報酬	図書館協議会委員報酬	96,000
2	報償費	講師謝礼等	96,460
3	旅費		32,000
4	需用費	需用費 合計	13,363,000
	消耗品費		1,881,000
	燃料費	ガソリン代	149,000
	印刷製本費	新聞製本	19,000
	光熱水費	光熱水費 合計	5,860,000
		電気代	5,800,000
		水道代	60,000
	修繕料	修繕費 合計	5,454,000
		本館LED化照明灯入替	1,980,000
		空調機内融式氷蓄熱ユニットプラインポンプ取替	2,310,000
		ピオトープ循環ポンプ入替	220,000
		非常照明器具修繕	418,000
		排煙開閉装置(ホール)取替え	159,500
		排煙窓固着改善	66,000
		その他 施設・設備等修繕	300,000
5	役務費	役務費 合計	707,000
	通信運搬費	電話代、郵送代	683,000
	火災等損害保険料	スポーツ保険@800×30人	24,000
6	委託費		8,978,000
	警備委託料		185,000
	施設等管理委託料	空調設備機器等保守点検、建築物環境衛生管理 電話交換機等保守、自動扉保守点検 雨水ろ過装置保守点検業務、消防用設備等保守点検 自家用電気工作物保安業務委託	3,113,000
	清掃委託料		4,986,000
	除草委託料		472,000
	植木管理委託料	消毒、松等の剪定作業	222,000
7	使用料及び賃借料	使用料及び賃借料 合計	6,484,000
	公用車リース料	2台	480,000
	事務機器リース料	デジタル印刷機リース料 9,790円/月 図書館システム使用料414,032円/月	5,086,000
	電子端末設置使用料	TOOLi図書館パッケージ連携版使用料	528,000
	複写機使用料		150,000
	下水道使用料		200,000
	その他使用料	AED使用料 @3278/月×12か月	40,000
8	負担金補助及び交付金	日本図書館協会会費、滋賀県公共図書館協議会費	47,000

図書館協議会からのご意見R2(2020)～R3(2021)

(令和2年第1回～令和3年第3回までにいただいた意見 33項目のうち前回の令和3年度第3回以降に実施、検討等が進んだ項目。
記載のない項目は実施済または今後実施、検討済)

前回から実施・検討が進んだもの

案番号	項目	内容	対応案内容	提案日
R3	28 ポイントカード企画	(ポイントカード企画について)大人向けのアイデアを出してほしい	今後アイデアを工夫する。令和4年度は11月に雑誌付録の抽選会を実施予定。	R2/3回
R3	29 施設貸出	ガラスケースを個人の作品なども展示できる展示場所として提供する。広報やすでもPRする。	令和4年10月「図書館でつくりました」事業で開始する。これを元にその後の運用方法を検討して実施。	R3/2回
R3	30 出張貸出	コミセンで開催しているサークル活動等の日程に合わせて、コミセンに出張貸出に行く	コミセンの意識調査のときに事務局の意見を聞いてみる。→R4調査済。イベント等の主催者の希望があれば、図書館が出張貸出や本の紹介をすることはコミセンも了承してくれる。今後適切な行事等があれば検討する。	R3/2回
R3	31 資料特設	ホールで開催する事業に関連した本の展示をする	実施できるものは協議の上実施する。	R3/2回
R3	32 資料特設	図書館以外の施設で開催する事業に関連した本の展示を会場で行う	実施できるものは協議の上実施する。可能ならその場で貸出する。(実施例:健康福祉センターの講演会R3/11月、総合防災センターの生涯学習カレッジR4/7月、平和のつどいR4/8月)	R3/2回
R3	33 PR	学校の児童用タブレットに野洲図書館のアイコンを入れる	RA-7と同じ。調査する	R3/2回

検討途中のもの

案番号	項目	内容	対応案内容	提案日
R3	3 HP	青空文庫を図書館のHPでリンクを貼ってほしい	リンクフリーなので可能。貼る場合はHP上のどこに入れるか要検討。	R3/1回
R3	9 広報	自治会で読み聞かせしたい人がいる。図書館に相談することを知らない人もいるので「自治会にも貸出OK」のような図書館のアピールが必要。	HPや広報に載せる。(図書館サービスについての自治会への直接のご案内については、自治会側の負担となる場合があるので、この場合は、方法を担当課と相談する。)	R2/2回
R3	16 全域サービス	子育て・福祉部門の連携について、子どもの習い事の送迎の希望者としてもよい人のマッチングのしくみがある。コロナ禍で家で待機する人に食料を届ける仕組みもある。図書館の本を届けたり、来館の送迎のボランティアを組み合わせることを検討する。	まず、野洲市で実施している既存のマッチングのしくみについて調査。(事故の場合の保険、利用者ボランティアの間のトラブル、申込の基準、など)	R2/4回

図書館協議会のご意見への対応状況

R4(2022)

資料⑧

案番号	項目	内容	対応案内容	提案日
R4	1 ブックススタート	貸読会場内で実施できない状態が続き、配布率が下がり続けるならやり方を変えた方がいいのではないか。郵送する等。	R4年より10月貸読で再度の案内配布。健康福祉センター内、図書館内にブックススタートの案内ポスターを掲示、現時点では郵送はしない。	R4/1回
R4	2 実績報告	概要編、資料編だけでなく、総評がほしい。1年運営してどうだったか、赤裸々な部分も示してほしい。	R4実績報告書作成時に作成する。文書で公開するため、読んだだけでも誤解のないよう、ある程度整った形が必要。総評を別編で追加するのではなく、概要編の中に入れる形で作成するよう検討。	R4/1回
R4	3 アンケート	紙ベースだけでなく、ネットやSNS等の手段を工夫してほしい。ネットを使って、これからこういうことをします、とか、市民の意見を聞ける方法がないか、図書館に来なくても関わりを持って図書館に話ができる企画を考えてほしい。	情報担当課に相談。市のHPの既存のしくみを使ってアンケートを取る方法を設定済。令和4年度のアンケートは紙媒体と同時にネットで収集する。	R4/1回
R4	4 アンケート	文章でのコメントに答えた「ご意見にお応えします」の部分が、「できません」ばかりで、書いても否定されるなら書くのをやめようと思われてしまう。採用しようという意見はなかったのか。	次回の来館者アンケートをまとめるときには、利用者からの意見を聞いて改善したこと、改善予定のことも、回答欄に記載する。	R4/1回
R4	5 実績報告	実績の分析について、インプットとアウトプット(貸出冊数)を12個の指標で作成してある。貸出冊数上位のまちの平均と比較して、野洲がどこが多いのか、少ないのかを分析する。	令和4年度の実績報告から作成する。	R4/1回
R4	6 広報	一日図書館員などのイベントの申込書をHPにも載せる	一日図書館員はカウンターでの申し込みが必要であるため、様式を載せるのはかえってわかりにくいかもしれないが、その他のイベント等で郵送での申込でよいものがあればHPに掲載する。	R4/1回
R4	7 広報	小中学生のタブレットに図書館のHPのショートカットを貼る。図書館だより等のデータを送るなどする	学校教育課に相談。タブレットのデスクトップは、すでに学習のためのコンテンツが多数入っているため、ショートカットを貼りにくい状況。インターネット検索のページで「お気に入り」に図書館HPを登録することは可能とのこと。	R4/1回